

■中山忠能 公卿。王政復古派公家の先頭にたって活動，失脚したが，明治天皇踐祚で，恵まれた維新後に。

なかやまただやす

浮世風呂・・1809＝ 参議正親町実同の女綱子を母に，権大納言中山忠頼の次男に生まれる。

水野忠成老中1818＝ 9歳：

伊能図完成・1821＝12歳：左近衛権少将に任ぜられ，

日本外史・・1827＝18歳：

富嶽三十六景1831＝22歳：権大納言吉園基茂の養女愛子と結婚。

・・・・・1836＝27歳：

大塩平八郎乱1837＝28歳：

勅進帳初演・1840＝31歳： 参議，

天保改革終・1844＝35歳：権中納言，

阿部正弘首座1845＝36歳：

・・・・・1847＝38歳： 権大納言に昇進，

・・・・・1848＝39歳：正二位に叙せられた。

万次郎帰国・1852＝43歳： 娘権典侍慶子がのちの明治天皇を出産。

ペリー来航・1853＝44歳：アメリカ使節ペリーの来航にあたり，武家伝奏三条実万の諮問に答え，その要求を退くべしと述べる。

開国開港・・1854＝45歳： この間，しばしば議奏加勢となり，

五ヶ国条約・1858＝49歳： *議奏に進む。たまたま条約勅許問題で老中堀田正睦が上洛しており，忠能は権中納言正親町三条実愛ら6人と連署して，外交拒絶意見を建言。さらに88人の公卿の先頭に立ち，外交に関する朝議の変更を陳状。

桜田門外変・1860＝51歳： 大老井伊直弼の横死ののち，公武合体論が起り，幕府が皇妹和宮の將軍徳川家茂への降嫁を奏請した際，岩倉具視・久我建通・正親町三条実愛らと奔走。和宮御用掛を命ぜられ，

遣欧使節・・1861＝52歳： 和宮の東下に供奉した。このため尊攘派から“四奸二嬪”の一人として攻撃され，

生麦事件・・1862＝53歳： 差控に処せられた。しかし，国事御用掛が設けられると，これに加えられて朝議に与り，

8月18日政変 1863＝54歳： 三男の忠光が大和五条の乱の首領に推されている。

禁門の変・・1864＝55歳： 長州藩兵が大挙して入京するにあたって極力同藩のために奔走したため，〈禁門の変〉後，出仕ならびに他人面会を禁止された。

大政奉還・・1867＝58歳： *明治天皇が踐祚して外祖父となるや処分をとかれ，岩倉具視・正親町三条実愛らと王政復古策をはかり，討幕の密勅を薩摩・長州藩に下した。〈王政復古〉に際し，議定に任ぜられ，

明治維新・・1868＝59歳： *輔弼となる。 戊辰戦争終・1869＝60歳： 神祇官知事，神祇伯，宣教師長官などを歴任。

学問のすすめ1872＝63歳：

明治6年政変 1873＝64歳： この間，従一位に昇り，准大臣となり，賞典禄千五百石を下賜され，

明治14年政変1881＝72歳：

秩父事件・・1884＝75歳： 侯爵となり，

初の対等条約1888＝79歳： 病没した。

平凡社百科事典，